婦人週報

主幹 小橋三四子　編輯主任 松本雲舟
（大正四年十一月四日第三種郵便物認可）

婦人週報第壹卷第參號

目次

寄生々活を脱して……小橋三四子
週評……
時事…大典記事、雜報、女學校だより
蒔いた種……目賀田逸子
人間を蝕する家庭……安倍能成
一人一評——津田梅子……
公娼より私娼へ……雲舟生
癈娼の後……油谷治郎七
女店主……
泥水から……
婦人自活の途——電話交換手……
湖水に投身して復活せる女……
オハナシ『生命の水』…巣鴨村人
子供の智慧——忘れるやうに、言葉の應用
新刊紹介——敏郎集、自然論……
小說『奴隷』……松本雲舟
畫家の見た現代の女……池田蕉園　森作湖仙
深窓の佳人……斬雲
床の間の飾り方……村岡應東
料理と禮節……万源主人
余が養生法（承前）……薄田斬雲
瓦斯の經濟……女高師教授 近藤耕藏
子供と收入、主婦の手帳……
婦人の聲……女教師の筒袖、人生を出直さう、鈴のついた下駄……
家庭園藝叢談……千葉晚香
身の上相談…養子を離緣したい、迷信でせうか……

寄生的生活を脱して

小橋三四子

△母か娼婦の型

或人が婦人には母と娼婦の型がある斗りだと申しました。若い娘の間にも、春風駘蕩自人をなつかしむる徳を備へても、周圍の關係を滑かにし、友情を育て、行く母らしき性格を備へた者と、他人の寵を一身に集めん爲に、常に愛嬌を賣らんとして居る者とあります人の妻となり、或は社會に起つては、愈々この性格が發揮して、一方は全く夫や子供に沒頭し、或は他人の犧牲になつて、一生を終る者と、他は衣裝髪飾に浮き身を扮して、只女といふ性を利用して、人を操縦し、事業にも成功しやうとする者とあります。この二つの性格の上には雲泥の相違があるにしても、何れも百年の苦樂他人に頼るといふ寄生的な婦人生活が生出したものに違ひありませぬ。

△男の理解

これを男子の方面から見れば、女といふものには甘へかゝつて、世話をして貰ふか、或は己の慰みに玩弄しやうとするので、もし母の型にも非ず、娼婦の型にも非ず人間として對等の位置に起たうとする婦人に對しては、大に其取扱に窮するやうです。私が始めて男子の仲間に入つて職業を取りました時に、傍らの男同志の話を耳に挟んで、限りなき侮辱を受けたやうに感じましたが、後によく〳〵事情に通じて見れば、それは心あつてする事ではなく、彼等は普通の會話をして居るに過ぎぬと知ると同時に、他の事に就ては一と角の識見を備へた者も、婦人に就ては極めて理解の低いことを嘆かずには居られませんでした。

△開拓の余地

前號の週評に報道した我が遣佛

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（毎金曜日發行）
發行所　東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行兼編輯人　小橋三四子　印刷人　小橋三四子
印刷所　四谷區尾張町五番地　万月堂印刷所

救護班が非常に不評判を招いた、その原因は醫長が彼の國の貴婦人に對して禮を失したによるといふ事でありますが、少く婦人の地位が認められ、人々の制裁の厳しくなつた社會に、男子が日本婦人に對すると同樣の態度を向けたならば必ず一般社會の指彈を受くるに定まつて居ります。それ程我が國男子の禮儀の頽廢して居るのは、また婦人にも多分の責あることを思はなければなりませぬ。婦人が社會に働く場合に、母の型にもあらず、娼婦の型にも非ず、一個の人間といふ自信を以て起つ時には、女子なるが故に一目も二目も置いてくれませんから、非常に働き難いでせうが、其處に今後の婦人の開拓すべき餘地があると存じます

△人間として誕生

それにしては今の女子には人間としての教育が足りないやうです一寸雜誌を手にしても、頭腦を磨くやうな處は先づ避けて、化粧法や人情物、料理、手藝といふやうなものに眼が走つて了ひます。人の話を聞くにしても骨の折れる事はずん／＼省いて軟かい輕い話にのみ興味を向けます。女子教育は所謂良妻賢母主義が愈優勢になつて來て「小包をどうして縮めるものか」「靴はどうして磨くものか」といふやうに同家政學にしても、極めて細目に亘つて居るのを尊ぶやうになつて居ります。それ故婦人の智識は愈々斷片的になつて來て、統一推理の力は愈乏く品性も人として作られる前に、先づ所謂良妻賢母としての型に嵌められて了ひます。私は良妻賢母を誠に尊いものと思ひますが、それには一定の型があるものとは思ひません。殊に今後の良妻賢母は我れ自身をも夫をも子供をも人間として對等の地位に置き、其處から割出して取扱つて、始めて立派な家庭も國家も出來るものと思はれます。婦人が母の型は改め、娼婦の型を捨てゝ人間として誕生する時が來ました。

週評

◉●●●●●●曠古の御大典　曠古の御大典も何の障りもなく進行して居りますこれを機として、我が皇室と國民との親密の度が一層增しましたやうに感ぜられます。我が皇室の榮光を思ふて生命を捧げんことを誓はぬ民草はありますまい。

◉●●●御慶事近し　皇后御慶事の近づきましたことは、かさね／＼の御目出度いことゝ存ぜられます。御母君の御健康は勿論、生れたまふ聖子の御健全ならんことを偏に祈られます。

◉●●●五節の舞姫　五節の舞姫達も無事に舞ひ納めましたのは、何よりの事でした。一代の光榮に感じたでありませう。この光榮ある女性をわが嫁にしたし、妻にしたしと望む人の多いのも、美はしい人情でありませう。この光榮が舞姫の一生を支配して其生活の源とならんことを望みます。

◉●●●藝者の奉祝　前以てケチのついた藝者の奉祝も、やつて見たら大變な冒險であつた事が解りました大群衆の波濤のために、藝者の負傷三十餘名とはいかにも氣の毒な事でした。護衛兵か乘馬巡査の群にでも守られなかつたことは、彼等の失策でした。負傷した今になつては、矯風會の言ふ事を聽いて始めからやらねばよかつたと後悔してゐることでせう、矯風會と藝者自身とは「やらせたくない」「やらねばよかつた」といふ將來と過去の差こそあれ、歸結を同じうするものといつて善いでせう冷熱の兩極端はいつも同一なものです、あな笑止や。

◉●●●●チャーチル出征　英國前海相で今までランカスター公領尙書であつたチャーチル氏が辭職して一劍を提て聯合軍に投ずるさうです。この人尙春秋に富み、文筆に非凡の才を有すると同時に、戰塲に於ても屢奇功があつたさうです、聯合軍の士氣を鼓舞する上にこの人の出征は大に預かつて力あることでせう、好漢自愛せよ。

◉●●●●英國と徵兵令　海外電報によると英國では獨身青年の出征を强制して居るさうで、それは徵兵令を布く準備だと噂されてゐます、義勇兵制度を誇つた英國がさういふ强制をするやうになつたのは、今度の戰亂の勝敗が英國に及ぼす結果を悟つたからでせう。獨逸が勝つか互角の勢ひで物別れとなれば英國が獨逸に凌駕せらるべきとは明なる事實です。戰塲が自國の外に限らるゝとは言へ、英國が其の死力を盡くすべきは今日の急務でせう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◎大嘗祭

十日御即位の大禮は行はせられたる　聖上陛下には翌くる十一日賢所大前に於て御神樂の儀を修せられ以て神祖の神靈を慰め給ひ更に十四日は御一代一度の大祇たる大嘗會の御儀を行はせらる。十四日午前九時賢所大御饌供進の儀あり同十時五十分終る、同日午後六時悠紀殿の儀を行はせられ同九時三十分終了、十五日午前一時三十分より主基殿の儀を行はせられ同四時卅分滯りなく御終了あらせられました。

◎大饗宴

天皇陛下には即位禮及大嘗祭を滯りなく終らせられたるを以て十六日は正午より京都二條離宮内に御造營の大饗宴場内に各皇族殿下を始め奉り外國代表者並びに文武高官有爵者優遇者等一千餘名を召させられ左の勅語を賜はりました。

勅語

朕大禮ノ典儀ヲ擧行シ爰ニ饗宴ヲ開キ各國代表者並ニ諸大臣等ト歡ヲ共ニスルコトヲ得ルハ朕ノ太タ嘉悦スル所ナリ茲ニ友邦ノ君主及大統領ノ健康ヲ祝シ併セテ交際ノ益々親密ナラムコトヲ望ム

右の勅語を拜受し、參列諸員を代表して大隈首相恭しく奉對の辭を奏し露國大使外國使節を代表して奉賀の辭を奏しました。かくて諸員に白酒黒酒膳酒及插華を賜ひ新穀を臣下にも頒ち賜ひて皇運萬歳奉祝の盃を擧げさせられました

此日京都堂上華族令嬢の奉仕した五節の舞は久米舞風俗舞と共に此盛宴を花と飾つたのでございます

◎稲搗歌風俗歌

十四日大嘗祭當日御式場に於て奉奏した悠紀主基兩地方の稲搗歌風俗歌は左の如し（悠紀地方は黒田子爵、主基地方は入江子爵作）

▼稲搗歌

悠紀地方（六美村）

八束穂のたり穂の稲を刈 積みて搗くや村人むつみあひつゝ

主基地方（山田村）

玉もよし讃岐の山 田あらた代の秋のたり穂の稲や搗くらん

▼風俗歌

悠紀地方（音聞山）

君が代を千代もさ呼ばふ松 風の音も絶えせぬ音聞の山

主基地方（鼓ヶ岡）

雲井まで高く響かん里 人の鼓が岡に千代呼ばふ聲

◎大饗風俗歌

十六日、大饗第一日に行はせられた悠紀主基地方風俗舞の際に奏せられた大饗風俗歌左の如し

▼悠紀地方風俗舞歌　黒田清綱子作

參音聲（年魚市潟）

わたつみのかみもほくらしあゆちかたちたのうらなみちよのこゑする

樂　破（二村山）

きみかよのよそほひそみむさきはなるまつさたけさのふたむらのやま

樂　急（五十兒島）

きみかよのめくみうれしくいらこしまあまいこらさへうたふこゑする

退出音聲（高師山）

まつかせのこゑいやたかきたかしやまわけてもけふはちよよはふらむ

▼主基地方風俗舞歌　入江爲守子作

參音聲（小豆島）

おほきみのみよしろしめすときつがせあまつしまにもふきわたるらむ

樂　破（萩原）

よろこひのくもさもみえけり栄のいろににほへるあきのはきはら

樂　急（松山郷）

ふくかせもえたもならさぬおほみよにいやさかゆらむまつやまのさと

退出音聲（玉の浦）

よろつよのかせさやかにもてるつきのかかみなみかくたまのうらなみ

◎藝妓行列の大失態

婦人矯風會其他の反對盛なりしに拘らず警視廳は藝妓の行列を許可したので、十六日の東京丸の内は大混亂を呈しました。此日芝神明連の女奴と仕丁と山車曳き、日本橋連の御殿女中姿、浪花町連の仕丁姿、よし町連の手古舞に山車柳橋連の早乙女行列等いづれも豫定通り午前九時十時に集合點を出發したが、何れも忽ち見物人の人波に揉み碎かれ、或る者は蒼白になつて大手町の一會社に逃げ込むと云ふ騒ぎ、帝國劇場前に至ると益々大混亂を來し、警戒の巡査も人の波間にもまれ役に立たず、女や子供は悲鳴を擧げ救ひを求める處へ無理遣りに藝妓行列が練込んで來ましたから全く危險狀態に陷り、新橋藝妓菊の家政菊（二三）は群衆に蹂躪られ重傷を負ひたる外負傷藝妓總數三十九名の多きに上りました。神聖なるべき奉祝行列にかゝる血なまぐさき事故を生じた事は甚だ畏れ多き事共です。

◎看護婦の主張貫徹

十月一日から施行された警視廳令看護婦規則施行細則に依り從來看護婦の等級中、特等（日當一圓廿錢）と四等（四十錢）とを廢し、一等（一圓）二等（八十錢）三等（六十錢）の外に各等に乙級を造り十錢安として派出する事になり、此點は異議なく實行されてゐましたが、●●●●●●●●●●結核病看護も普通日當として

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

傳染病割增し（日當の二割）を取らざる事と云ふ新規則は餘りに慘酷な事であると云ふ所から十一月初旬大關ちか子外數名の看護婦會長は警視廳に同條項の解除を願ひ出ました結果、當局も其事情を認め、醫師が傳染病と診定し消毒藥を用ゆる患者の看護婦は傳染病特別割增し金を要求する事を得と定め十三日右の如く決定されました。

●●●●●●●●

看護婦會側の申す所を聞くと、肺結核患者の看護は總ての看護婦の厭ふ所で、其看護に赴く時は傳染を覺悟してゆく程で、中には肺結核の看病をさせるならば看護婦會に籍を置かぬと云ふものさへあるのですから、之れを普通日當でさせると云ふ事は如何に慈善事業と云ひ慘酷であると云ふのです。

◎光榮ある二看護婦

皇后陛下には愈 今月廿五六日頃御慶事あらせらる、趣きにて今回御誕生遊ばさるべき新宮附看護婦として赤十字社看護婦乘松まさ子平田なか子二氏を召出される事に御內定遊ばされたさうです。

◎伊丹百重刀自逝去

閑院宮、東伏見宮、村雲尼公、清棲伯の御生母なる伊丹百重刀自は十二日赤阪區葵町東伏見宮家に於て逝去せらる享年七十八

◎大隈伯令姉逝く

大隈伯爵令姉相良妙子刀自（八六）は十六日午後九時牛込鶴卷町二八六番地の隱宅にて心臟衰弱の爲め逝去されました。

◎智利公使の訃

御大典參列の爲め京都に滯在中であつた智利公使ドン、フランスコ、エルボソ氏は十六日二條離宮の大饗宴に參列し京都ホテルに歸館すると間もなく胸痛を感じたるが十七日午前五時遂に逝去されました。享年五十四。

◎文展の成績

上野の森の名物たる文部省美術展覽會は一ケ月の會期中實に十八万三千三百八十六人の觀客を吞吐して本月十四日を以て閉會しました。來る廿一日からは京都に於て開催されるのですが、東京の成績は昨年に比し入場者三万六千九百六人を增加し隨て賣約品も增加し宮內省政府買上品の外四十八點此價額七千九百五十圓に上りました

◎出超一億二千七百万

大藏省の調査に依れば十一月上旬の對外貿易は九百五十八万六千圓の輸出超過を見ましたが之にて一月以降の輸出超過累計は實に一億二千七百七十一万四千圓となりました。

◎在外正貨輸送

戰亂發生後英國に於ける我が在外正貨は著しく增加したので今回倫敦駐在日本銀行監督役は本店の命を受け、紐育監督役と打合せの上、正貨三千万圓を倫敦より紐育に輸送する事に決し其手續を了したと云ふ事です。

◎近來の悲慘事

京奉鐵道技師長工學士老田太文氏は家族妻キヨ子娘二人を伴ひ友人なる奉天の弘濟堂藥店主人藥學士佐藤才太郎氏と共に十四日午後六時過支那荷停車場より奉天驛に向つて大なるトロに乘り四名の支那人に押されて線路を進行中時ならぬに支那の機關車背進し來り避難する猶豫もあらず一同機關車の下に轢倒され十二才の末女が重傷を負ふて僅かに生存せる外全部無慘なる最後を遂げたと云ふ事ですが近頃にない痛ましい事です。

●日置公使夫人出發　夫公使と共に十三日神戸出帆の淡路丸にて北京へ向け出發されました。

女學校だより

▲山脇高女の敍勳祝賀會　二十一日職員及び卒業生九百餘名發起となり校長山脇女史の敍勳祝賀會を催し紀念品として銀の花瓶一對を送る筈なりき。

●●●●●●●●

▲上野高女記念運動會　十三日正午より同校內に催し頗る盛會なりし。

●●●●●

▲大典奉祝聯合運動會　京橋區內十四小學校の記念大運動會は十二日午前より日比谷公園に開催四千の少年少女は午後三時より旗行列を行ひたり。

●●●●●●●

▲京都小學奉祝大運動會　京都市主催にて十五日午前九時より深草練兵場に行ふ高等小學二校尋常小學六十二校、二万の小國民は壯快なる一日を樂みたり。

●●●

▲南洋に小學校　南洋占領諸島軍政署は今回占領の八島に夫々小學校一校宛を設置して土人を教育する事に決し教師十名は目下文部省にて選定中

●●●●●●

▲双葉高女の制服改正　生徒の風俗を矯正する爲め一尺八寸以上の袖丈ある衣服を用ひしめざるやう決定此程發表せりき

●●●●●●●●

▲釜山公立實科高等女學校　十四日の佳辰をトし開校式並に落成式をいと盛大に擧行されたり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

蒔いた種

男爵夫人　目賀田逸子

▼朝鮮の今昔

私は今度九年目で朝鮮に旅行しましたが、同行の老婦人が「朝鮮は禿山だと聞いて居つたが、來て見ればまるで違ふじやありませんか。どちらを見ても、緑の山で美くしいこと」と申すのです。成る程十數年前山々に植林した杉や檜が、今は見違へる程成長して、赤い地層を隠して居るので、今更のやうに「蒔かぬ種は生えぬ」と申すことを感じました。

▼屋敷の挿木

もう二十四五年の昔になりますが、千駄木林町に六百坪の屋敷を買入れた時、その垣根は皆私の挿木した檜で致し、只杭と手間とだけで、廣い圍いの出來た事は、自慢でございます。當時は二三尺であつたものが、間も無く人が飛び越る事の出來ぬ程に茂つて來ました。遂兩三年前庭の手入れをした際も、苅込んだ檜の小枝を一万本裏に挿木したものが、今は大概着いて居ます。一本五厘に賣れた所が、ざつと五十圓です。一圓でもたゞ呉れる人はありませんが、一寸手を動かして置けば、幾らか生れて來るのです。

▼旅行の折に

宅の庭に今奇麗に咲いて居る山茶花なども、皆私が種を蒔いたものです、盛花の沈丁花の小枝や花活けの磯馴や、南天など、皆挿木をしたものが、美事に茂つて居ります。裏庭の柿や杏、巴旦杏等も皆私が接木して、年々食べ切れない程、成ります。其他各地に旅行した折々種を拾つて來て蒔いたり、根をこいで來て植たりしたので、こんなに賑やかになつて居ります。私の庭からこういふ植木を取り除いてしまつたら、誠にみすぼらしいものです。

▼庭の桑で養蠶

二十四五年前は、毎年庭の桑で蠶を飼つて採り蓄めた糸で十反斗り反物を織りました。さん〲外出行に着て、この四五年平常着に着て居りますが、まだ〲丈夫で居るのを見てつく〲手織はよいものだと感心して了ひ、また蠶が致したくなりました。内地では今は少しでも蠶を飼へば税を取られますが朝鮮は養蠶にかけては内地より適して居る上に税などは取られませぬから、今度旅行中にも諸方の奥様に是非養蠶をなさいとお勸めして來ました。

▼無盡藏の財源

生活難や就職難を訴へる人々が日に月に多くなつて參りましたが内地や朝鮮滿洲邊り丈けを旅行して見ても、若しこれに少しの勞力を加へれば、無盡藏の財源を開拓する事が出來やうと思ふ所が多々あります。家庭にある婦人等が大きな事は適應しくないとならば空地ある毎に樫の種一粒宛でも蒔いて居つたら、國家の上からは大きな繁榮になりませう。

人間を蝕する家庭

文學士　安倍能成

十二三前年に勝海舟伯の「氷川清話」を讀んで「一家の事程人間を弱らす者はない」といふ意味の詞に接したのを記臆する。一方からはあの濶達自由な英雄にも此様な嘆きがあつたかといふ氣もするが、英雄とて人間であり、殊に酸いも辛いも嘗て來た勝伯に此言のあるのは、寧ろ當然に過ぎる位のことであると思はれる。

▼滲み込める因襲

それに就て考へるのは、日本在來若くは現在の家庭が、十分に個人の能力を發揮せしめる様に出來て居ずして、寧ろ個人の能力を萎縮せしめ、生殺しにし、更は進んでは、之を蝕ましめてしまふ弊のあるといふことである（尤も私は之を日本に限つた事など、は決して思はないが、日本に於ては殊に甚だしいと思ふ）私は新しい教育を受けた、可成自覺の深かるべき人間が、隨分かうして損はれて伸ぶ可き者を伸ばさずに仕舞ふといふ様な實例を見て、この因襲が隨分深く滲込んで居る事を感ずる

▼個人主義的思想

それを救ふには、どふしても善い意味に於て徹底した個人主義的思想を養ふのが尤も根本的である世の識者とか學者とかの中には、この個人主義的思想を非常に危險視して、在來の家族主義を復興させやうと努める人もあるが、私の考へではそれは無駄である、生半

可な個人主義的思想を一層眞實な個人主義的思想に推し進めるのが今日の急務である　私のこゝにいふ個人主義的思想といふのは、個人の人格を尊重し、個人の能力を思ひ切り發揮するを努めると共に同時に他の個人の人格と能力とを尊重する意味を主としてゞある。この覺悟が十分にしつかりして居ないから、煮えたやら燒けたやら分らない様なことをぐづ〳〵他人の爲にしたり、犠牲だ犠牲だとこぼしながら、あたら自己の天賦の力を腐らして仕舞ふ様な、自分にも天にも濟まぬ様なことをして一生を終るのである。

▼見えざる浪費

自分の力を十分に盡くさずに、一家親族の間と雖も許す可らざる惡德である。然し在來及現在の日本人の多數にこの自覺の足らない爲めどれだけ無用の不平と怨嗟と爭闘とが起つたことであらう。又どれだけ人間の生活の見えざる浪費と精力の消耗とがあつたであらう。かくの如き地盤の上には偉大な思想家とか藝術家とかいふ様な者は生れ難い。家族主義といふ名の下にある無用な煩鎖な物質的な接觸を成る可く避けて、人格と人格との意義ある接觸の機會を造ることは非常に大切であると思ふ。實際、在來の生活は餘りに他人の爲に構ひ過ぎて居て、その癖一向淺い交渉のみを繰返して居ることが多い。

▼殼を除いて

よくかういふ様なことを耳にする。西洋では骨肉でも決して構はない。兄は金持で弟は養育院に居るといふ様なことは普通のことであると。然し我々は日本の社會でも早くそんなになつて、安んじて骨肉に無慈悲の出來る時を待つべきであらうか。かういふ風に外的に手取り早く個人主義的思想を飲み込むことの愚は言ふまでもないそして皮相的西洋崇拜者の言説にこんな風なのが多いことも注意しなければならない。

兎に角現代の不整頓な半可な狀態の下には、人間に取つて眞實に重大なことが、皺こばつた空虛な外形や傳統の下に壓せられて居ることが多い。殊にそれが家庭の中に多い。此等の殼を除いて、自覺の芽生を成長さして行く爲には下らない他人に對する頓着を無くすると共にお互の眞實な貴重な生活の方面を尊重する事が肝腎である

大高源吾の句と傳へられて居るのに『我物と思へば輕し笠の雪』といふのがある、我家庭を輕く快よき我が物たらしめる努力は固より大切である。然しながら自分の生活より我が物ならざる者を排することは、それに先きだつて是非欠く可らざる事であると思ふ。

＊（一人一評）＊

津田梅子

▲女子教育家叙勳者の中に津田梅子さんの名が見えた。當然の事と思ふ。女子英學塾の校主として日本の女子に英語を普及し英文學を鼓吹した効績は沒すべからずである。女性である事を利用して、種々妙な手段を用ひて事業をなす者が多い世の中に正直な道を辿つてあれだけの學校を經營して居られるのは偉いと申さねばならぬ。

▲津田さんは今年五十幾つの童貞である。近代日本が生んだ最初の完全な童貞と申してよい。童貞の聖さには一種の凄味、寂しみがあるものである。活動的の津田さんには凄味や寂しみを見出すことが出來ぬが、親近者の話しを聽くに、矢張童貞の婦人に有勝ちな性質を持つてゐられるらしい。言ひ換ゆれば母親の持つてゐるやうな柔しい情に乏しい思ひやりが足りないとも申せやう。だから氣の弱い女學生は津田さんの前に出ると、裁判官の前にでも出たやうに、ひり〳〵するさうである。併しさういふ強い所があればこそ津田さんは完全な童貞を守ることが出來たのであらう。乘ずべき隙のない女として津田さんを尊敬せねばならぬ。

▲津田さんの塾から、新らしがる女が此頃續々出て來るやうである。英語が出來る所から、近代文學などを生噛りしたりするので左もあるべきことであるが、津田さんの教育方針に全く反對するやうな型の女は津田さんとして御困りになることと察せられる。子ロのやうな女王があるならさういふ心得違の女達を坑にすることも出來やうが、津田さんとしてはさうもゆくまい。（くも）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廢娼問題の歸趨
公娼から私娼へ

雲舟生

△罪惡と醜業

醜業婦は古く創世紀の時代にもあつた。人間の罪惡に咲いた花である。これを撲滅することは、人間の罪惡を全く洗淨してからでないと不可能である。若し淺見な廢娼論者があつて、公娼制度さへ廢止すれば理想郷が實現するやうに思ふのは極めて早まつた考である。さう容易くお誂へ通りにはゆかない。公娼がなくなつても、人間に罪惡のある限り、醜業は濱の眞砂のやうに盡へるものでない。即ち醜業の絶ゆる時は、監獄のなくなる時と同時であるといつても善い。其れ故に實際問題としては、醜業をいかなる方法に默許するか又出來るだけ之を尠くするにはどうしたら善いか、又醜業に從事する婦人を救濟する方法如何が問題である。婦人醜業問題は人間の罪惡の續く限り、幾世紀も未解決に終るであらう。之が未解決に居ればこそ矯風運動が常に必要なのである。

△公娼と私娼

私娼は取締に不便である。又花柳病を傳播し易い。其故に公娼より前に私娼を廢止せよといふものがある。これは公娼と私娼との性質を全く辨へぬ謬見である。極端にいへば、公娼は廢止出來るが、私娼は廢止することが出來ぬ。唯これを取締まる事が出來るのみである。公娼は制度上の問題であつて、私娼は婦人が精神的墮落か、生活に窮迫せる結果自由意志でやつてゐる醜業である。制度は廢止が出來るが、人間の自由意志は廢止することが出來ない。其れ故に現在の廢娼運動が公娼廢止に全力を傾注してゐるは尤もな次第である。制度としての公娼が廢止されてからでないと、私娼の取締や救濟問題には手を伸ばすことが出來ない。

△公娼廢止の理由

何故公娼を廢止せねばならぬかこれは既に言ひ古された題目であるが、約言すれば婦人貞操の賣買を國家が公に認めてやらして置くのは、國家の性質上不都合だといふのである。人身賣買、即ち婦人の自由を束縛して奴隷制度を公然許すのは、國家の品位上恥辱であるといふのである。又公娼となつてゐる婦人其者に就て言へば彼れ等が徳川時代からの惡習である斯る制度の下に、殘忍な又悲哀な生活を營つてゐて、自由尊重の文明の恩澤に浴する事の出來ぬは、いかにも氣の毒に堪へぬといふのである。同じ醜業を營むにしても、自由意志でこれをやり、いやな時には止めることが出來たら、彼等にとりてどんなに幸福だらうと言ふのである。是を實際上から見れば現在の公娼制度は衰頽して將に亡びんとしてゐる。これは彼等が時勢に適合せぬ陋習を墨守してゐるので、遊客が益々減少するからである。公娼は衰へ私娼は益々盛んなるの傾向は見逃すことの出來ぬ社會現象である。公娼は存置されても、又廢止されても、それは私娼とは全く沒交渉であると言つてよい。吉原を始め、各地の醜業者が私娼撲滅を警察や當局者に請願して自己の繁榮を謀らんとするのは、慾深爺さんが花咲き爺さんを羨むやうなものである。私娼は社會の要求に適合し、公娼は其要求に適合せぬのである。されば公娼をやつてゐる醜業者は矯風會の廓清運動を待たずとも、自ら時勢の非なるを悟つて其醜業を止むべき時機が到來したのである。政府とてこんな社會の要求しない制度を存置して置く必要はなからう。

△私娼と生活問題

生活が出來ぬので娘を娼妓に賣といふことが、在來の型であるとすれば、勿論公娼も生活問題の土臺の上に立つのである。併し一度借りた金を返へさぬ内は五年でも十年でも醜業を止めることが出來ぬといふことになると、既に生活問題を離れて、人權蹂躪問題に陷ひ込んでゐるのである。併しそれが他から強制されぬ純然たる私娼であるならば、生活問題に終始するといつて善い。其れ故に婦人の生活問題さへ解決すれば、自然これを減少し局限することが出來る

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のである。婦人に職業を與ふることと、即ち生活し得るだけの最低賃金のとれる職業を與ふることに依つて、私娼の大部分を救濟することが出來る。自分が好んで醜業を營む女は極めて尠い。饑て死するか、操を賣かといふ窮狀に到着して始めて醜業を營むのである。其れ故に婦人全体に職業と生活賃金を與ふることは根本的必要である其れ以上醜業が好きで營む者や、又虛榮に費す金を得んがために醜業を營む者はどし〳〵法律で取締るやうにすれば善い。されば公娼といふ奴隷制度が全廢された後に來る問題は、益々商業化してゆく私娼をいかにして取締り又救濟すべきかである。これは實は人間の罪惡と生活問題に根底を有する故に社會全体が改善進歩しない限りはいつまでも未解決に留まるであらう、併しそれだけに公娼廢止の時よりも尚一層の興味がある所以である。現在の日本が、早く公娼廢止といふやうな極めて・解り切つた易い問題の時代を通り越して、私娼救濟法といふもつと人生の根本生活に觸た問題を論議するやうになりたいものである。

癈娼の後

マスターオブアーツ 油谷治郎七

△丁抹の實例

英國では千八百八十四年、諾威は千八百八十八年、丁抹は千九百六年に於て公娼制度を全廢した結果、何れも人道上風俗上並に衛生上良成績を納めてゐます。此外米國の或洲でも實行しつゝありますが、今廢娼後の成績最もよき丁抹の首都コッペンハーゲンの事情を少し述て參考に致しませう。コ市は人口五十万、海岸の船つき場で水夫等の出入りが劇く、佛國風の輸入が盛んな北歐の亞典とさへ言はれる繁華な都會である。元此市には集娼と散娼の兩方あつたが千九百六年三月三十日から全廢されました。

△廢娼後の注意

全廢後如何なる制度にしたかと申せば(一)コ市の若い女の最低賃金一週間七クローネ!(二圓八十錢)として獨身の女子で此以上の收入なくうろ〳〵してゐると此を職業紹介所に送り、肯せぬものは牢に打込むと云ふ風にして先づ無職浮浪の女子を監督する(二)袖を引くとか其他男子を誘惑する女、これを養ふ者等は總て罰せらる(三)男女とも花柳病を他人に傳染させた場合は罰せられ、強制的に市立病院に入院せしめられ、損害賠償を要求せちれる(四)一年四万クロネー(一万六千圓)を費して男女十二人の市醫を各區に分置し男女とも此病者は無料にて治療してくれる。入院もさせるが、全治までは自由にさせない(五)內密に開業醫に行くのは勝手ですが醫者は患者の名を秘して衛生局に屆けねばならなりません。

△保護會の設置

かくして公娼は全く認許せず、花柳病者は隔離されて官醫制度で治療する。此結果は花柳病者も減じ密娼の數も公娼を許してゐる所よりは減じたのです。もとより斯かる制度のみで廢娼後の患なしとは申せませぬ。而し公娼廢止に反對する人々の憂ひとする衛生上の事、私娼跋扈等は丁抹の實例に徵して杞憂である事が判ります。尚道徳上からも貞操の觀念を堅くして日本の昔の道徳だつた親の爲なら身を賣と云ふ様な思想は打破し婦人がもつと〳〵自覺して強くならなければなりません。經濟上からも商店會社の薄給の女事務員、カフエーの女、工女は收入の少ない爲賣淫に向つて進んでゆく傾向があります。ですから米國あたりでは若い婦人の保護會と云ふ様なものが組織されて彼等に清き娛樂を與ふる事に盡くされて居り、且つ生活上不足なきや否やと給金の上に注意を拂つて居ります。

△墮落少女の救濟

前述のコペンハーゲン市が公娼を全廢するに至つたのも實に同市の婦人團体が、主唱したからであります。我國でも矢島女史が公娼廢止を叫ばれて居りますが、かゝる事が多く婦人の自覺により成就されるのは注意すべき事です。何れにしても公娼全廢の結果は總ての方面に良いのであるが廢された娼妓の後始末をどうするかと云へば、彼等の總てが娼妓をせねば喰へぬと云ふ事はないのだから相等の職業を與へて之を導くと共に性格の墮落し切たものは不良少女と見なして感化院の如きものに入れて教養するやうに致せばそんなに憂ふるに足らぬと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女店主

立志の鑑なる資生堂の夫人

▲謙遜な刀自

製藥舗として名高い京橋銀座の資生堂は夫人とく子刀自の働きによつて成功したと申しても過言ではありません。其の主人の福原有信氏は現に帝國生命保險會社長として専ら外に働いてゐられるので夫人は店員と共に店の仕入から製造販賣に至るまで一身に引受け、且つ今まで八人の子供の母として忙しい家事を務めて來られました記者が御訪ねした時に、夫人は熱心に店員を差圖したり、他からの電話を受けたりして居られました夫人は愼ましやかに自分の手柄は誇らず、「私共の今日あるを得ましたのは、全く長井博士と高木男爵の御陰でございます」と其の恩顧を感謝されました。

▲四十二三年の昔

『私の父は御家人でございまして、私も幼時から或る旗本の所へ參つて居りました。有信と婚禮しましたのは十九才の時でしたでせう。當時は六十一歳、御覽の通りの昔者で一向に教育もございません。其の頃主人は海軍病院の方へ務めて居りましたが、病人を治する藥が餘り粗惡であつたのを嘆いて、調劑藥舗を開業するやうに致しました。この銀座がまだ煉瓦にならない時分ですから四十二三年も前の事でせう。まだリスリンさへ用ゐる人がなかつた時分で、私が自分の手や顔につけて先づ實驗し、それからこの邊に居る藝者などに試してもらつて、やつと資生堂のシミル藥を白粉下にすると延びが善いなどゝ言はれるやうになりました。

裝り振りにかまはず、子供を負つて製藥の手傳ひをしましたが、或る時は借財に苦しめられて、自分の着物を夜窃と質屋へ運んだともありました。其の内に高木男爵が西洋から御歸りになつて、調劑を私共へ御命じ下さつたり、長井博士の御引立を蒙るやうになつて難關をもどうやら切り拔けて、今日の盛大を見るに至りました。この十日には家内一同を集めて昔話を致しました。

▲奉公人の母

夫人は今でも奉公人と同じ食卓で、三度の食事をして居られるほど、万事奉公人を撫つて居られますので、現在三十餘人の奉公人は夫人の手足の如く熱心に働いて居ります。夜は各自の希望で、藥學校又は英語學校等に通學して居るさうです。最初から店に使はれた店員二百餘人は、皆獨立して藥劑師となつて、或は獨立に開業し、又は會社に務めて居るさうで、一同に資生會を組織し、年に三四回づゝ一堂に會して昔話を致すさうです。

泥水から

足を洗つた女の可憐な物語

廢娼と云ふ問題に關聯して、自由廢業した婦人を保護しつゝある救世軍婦人ホームに、村松愛藏氏夫人をお訪ねして次ぎのやうなお話を聽きました。

△可憐な田舍娘

自由廢業した婦人の中、頼る所のない者ばかり、昨年中に六十名婦人ホームへ送られて來ました。其多くは二十歳前後で産地は殆ど東北地方です。斯る婦人が田舍から賣られて來る時には、錦繪みた様な江戸の花魁を頭に描き、自分さへ娼妓になれば、親は安樂に生活する事も出來、自らは玉の輿にも乘れるやうな、世間知らずの考へを持つてゐるのです。娼妓に對する斯る誤つた考は殆ど東北地方の田舍の人々の頭に滲み込んでゐるかの如く思はれます。否、實際山形縣の或地方では其村の貧家の娘が、娼妓として賣られ、樓主

の後妻となり貧しかつた父母は別莊の樣な家に住む身となつたと云ふのを見聞きして、左程生活に窮せぬ眞面目な家の親や娘までが、双方の爲めだと云ふ樣な考から、うか〳〵と桂庵の甘言にのせられて苦界に身を沈むるといふやうな悲慘な話があるのです。

△泥水が滲みぬうち

想像に違つた苦しい娼妓生活に堪へかねて、未だ左程泥水が滲みこまぬ中、逃げ出して來るものは眞面目な生活に入る事が樂ですが長の年月ふしだらな生活を續けてゐたものですと、却々普通の人にはなれません。初めは座り方から敎へて、言葉づかひお辭儀のしかたなどより導いて行かねばなりませぬ。かうして癖を直してゐる間に、親の方に紹介して慥なものであつたら親元へ歸らせます。愈々行き處ないものは奉公に行かせますが、之れは餘り結果がよくありません。尤もうまくゆくと相等の男子と結婚して、小さい乍ら共稼ぎの樂しい家庭を、作るものもございます。

△大收容所が必要

中には隨分物の判らぬ者があるが彼等を救ふ事は不可能ではありませぬ。ホームでも漸次收容人員が增して現在では廿二人一所に暮らしてゐますが、將來は區別して敎養したならばもつとよい成績を得る事と思つてゐます。兎に角廢娼が實行される場合には是非とも大規模の收容所を作つて、之れに現在の娼妓中賴る邊無き者を收容保護いたさねば其れ丈私娼が增す恐れが在まいかと思ひます。

婦人自活の途

電話交換手

▽最も得易い職業

東京市內、九つの電話局には二千三四百の交換手が働いてゐます女子の事とて年頃が來れば嫁に行くとか其の他色々の事情で、退職するものが多いから、其の補缺の爲め各局とも毎月新手を募集してゐます。滿十三歲以上二十三歲以下と云ふ年限、尋常小學卒業の學力耳目言語記憶力等が普通の女子ならば、必ず採用されると斷言してよいでせう。

▽月給三十圓の女判任官

見習ひ期間三ケ月は一日十七錢の手當があり、愈交換事務に從事すると最初が日給金廿五錢。約半年毎に二錢宛日給が上つてゆき二年後には一ケ月（年四回の賞與を入れて）十圓位の收入にはなります。四五年勤めれば主事補と云ふ役に進み日給四十錢から四十五錢、他に年四回（一回五圓位）の賞與がありますから月收十四五圓に當ります。十年位勤續すれば書記補となり女判任官として月俸三十圓、他に賞與等を入れゝば月收四十圓以上に上ります。

▽好適なる婦人自活の途

右の如く初めの程は自活の途とするに困難でせうが、少なくとも三年經てば女一人自活するに不足はなくなるでせう。交換手の多くが一時の方便として入るだけ其れ丈け、これを職業として自活しやうと云ふ婦人には好都合です。勿論口入釜しい女子の寄り合ひですから不愉快な事も多いでせうし、仕事上の苦心も少なくはありません。けれども女ばかりの局內（男も少しは居れど）ですから他の社會の如く誘惑等もなく、自の心一つで立派にやつてのける事が出來ます。

噂

▲十六日の大饗宴に花の如うに舞納めた五節の舞姬、淸閑寺歌子孃（廿一）吉田男爵令息と、石野和子孃（十九）は東京の某華族と、萩原種子孃（廿三）は宮內省の某技師と持明院宏子孃（廿）は東京の某實業家の令息と、最後に舞姬中第一の美人と云はれた高倉則子孃（十九）は海軍中尉の某男爵と各々婚約されたと云ふ事、重ね〴〵目出度い噂として記して置きませう。▲女優松井須磨子はつい此頃の事尋常五年に通ふ愛らしい娘を養女にしたさうですが、其娘は須磨子の姉さんの生んだ子だと云ふ事で、須磨子によく似てゐます。▲『怒るな働け』主義の高悅孝子女史は、流石苦勞人だけあつて何んでもはき〳〵した事がお好きで、女史が外出の時にはお座敷の眞中に立つて、ちよいと目配せすれば邊りに居る塾生は其目つきで、總てを心得くる〳〵と立働き女史は殆んど、一口も喋らずに身邊りが整ふやうに躾てあるとの噂。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

湖水に投身して復活せる女（一）

記者に送れる其手紙

名は秘しますが、最近東京近在の某湖に投身した若い婦人がありました、藝術に携はる身でしたが、この世を悲觀してふら〳〵と自殺する氣になつたのです。幸に蘇世することが出來たのですが、其死の刹那の僞らざる經驗は心理研究の上からも價値あるものと思ひますので、茲に其手紙を掲載することに致しました。

＊　＊　＊　＊

よく蘇つて呉れました、過去はもう何も云はない、今日をお前の誕生日としてやるからと只一人の母が申してくれました外、徒らに唇かへす人のみ多く轉た寂しさにやるせなき折柄、あゝした御溫情に接して、私は何とも申し上られない心強さを覺えました。

＊　＊　＊　＊

丁度十月六日午後の四時を少しまはつた頃でした。どんよりと曇つた空の地平線近く血色の太陽の大きく懸かつてゐるのを眺めました。灰色の層雲が鉛色の湖水のはてに一ぱいこめて居りましたから日輪も明かいつねの輝かしさではなく、只眞赤な球体に過ぎないのでございます。

＊　＊　＊　＊

岬の上に立つた私はさすがに淋しい心持が致ました。

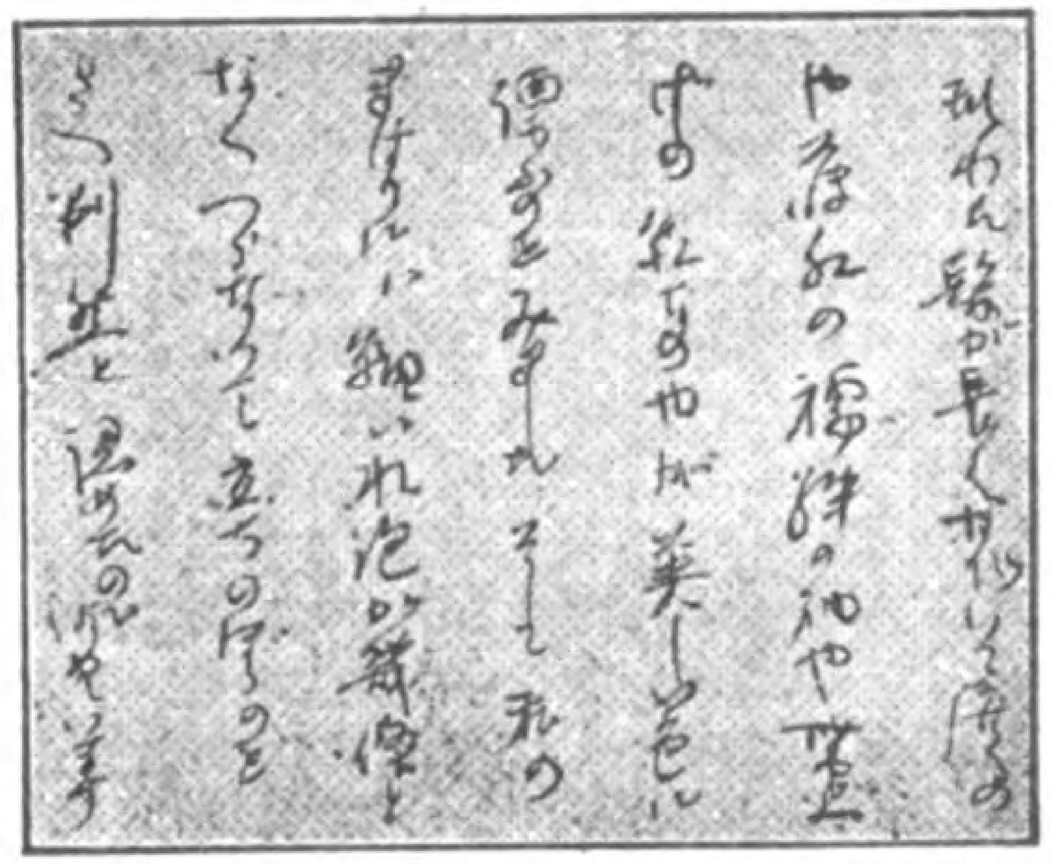
＊　＊　＊　＊

そうして美しく死にたいとこれのみを思ひました。源氏物語の浮舟や、万葉の手古奈など水に逝きし人々の生涯をしみ〴〵回想されました。殊に浮船の君の弱い弱いたぢろき勝な性格や、その弱さから醸した悲慘な境遇なぞを他事ならず思はれたのでございます。醜い死狀となるのが厭でしたから、扱きでしかと裾を結び、手は合掌して胸に組ました。

斷崖を脚が離るゝ刹那は、さすがに怖ろしさにくるめく思ひを致したのでございます。冷たいしぶきが顏にかゝると一所に躰は一時深く水に沈みましたが、又おのづと浮き上つて前後左右に不安定に動き始めました。早く死にたいと眼を閉ぢたまゝ波の飜弄に任せてゐた私は、追々呼吸の迫る苦しさにもがき出しました。悶きつゝ早く水底に身を沈めやうと致しましても、水は意地惡く逆らつて沈めさせませぬ。くる〳〵と水の中間で私の躰は旋回し始めました斷末魔の苦悶とはあれを申すのでせう。何しろ平生は人一倍の健康体で、風さへ滅多に冒されぬ私が一躍死の關門をくゞらうとするのですから、無理が行のも無理はありませぬ。

結んだ手は自然解けてしまひます、水に壓されて頭は激しく痛み始めました。溺るゝ者は藁でもつかむといふ諺にある通り、私は水中で「苦しさ」ばかりになつてもがきました。あの時何か流れて來た木の片でもありましたなら、無意識でつかまつたと思ひます。

その悶きも幾十分かの後には只水の動搖を感ずるほどになつて參りました、そして私の亂れた髮が長くなびいて居るのや、薄紅の繻袢の袖や帶上の紅なのやが、美しい色に漂ふのを見ました。そして私のまはりには細かい水泡が幾條となくつらなつて立のぼるのをさへ、判然と認めたのであります。（つゞく）



復活せる女の手跡

生命の水

（三）

巣鴨村人

王子は吃驚して飛び起て、井戸の傍へ駈けて行つて、コップへ一杯水を入れて大急ぎで歸

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らうとしました。鐵の門を出ると一度十二時を打て戸がばたりと閉まりました。

王子は安全に、生命の水を得ましたので大喜びで歸りましたが、途で又例の一寸法師に遭ひました王子は魔の御殿で、お姫樣に遭ふ前に、室の机の上にあつた劍とパンを取つて來たのですが、一寸法師は之を見て「これはえらい獲物を持つて來ましたな。この劍があれば、どんなに澤山の軍勢も一打にすることが出來ます。又このパンがあれば腹のへることはありません」と言ひました。王子は其時「兄さん達を連ないでは、お父さんの所へ歸へれない」と心に想つて、一寸法師に向ひ「あなたは私の二人の兄が居る所を御存じありませんか、私の前に生命の水を取りに行つた切り、歸らないのですが」と尋ねますと、一寸法師は「あの二人は傲慢で無禮だから、山の間へ閉ぢ込めて出られないやうにしておきました」と言ひますので王子は「どうぞ赦してやつて下さい」と頼みました。一寸法師は二人の兄さんを赦してくれましたが「この人達はたちが惡いから、御氣をつけなさい」と三男の王子に言ひました。

兄さん達は山の間から出て來て大喜びでした。三人は馬へ乘つて歸りを急ぎましたが、途中で戰爭と飢饉で困つてゐる國を通りました。三男の王子は持つてゐるパンを其國の王樣にやりましたので國中の人々が餓死ぬのを免れました又王子は其不思議な劍を貸しましたので、其國の王樣は敵の軍勢を破ることが出來ました。

兄弟達はそれから海を渡りましたが、二人の兄さんはこそ〳〵とかう言ひました「弟の奴は私達が見つけることの出來ない生命の水を持つて來ので、お父さんは私達を棄て、弟に國を讓られるかも知れない」そこで二人は弟の王子が眠つてゐる間に生命の水を奪つて、そのコップに辛い鹽水を入れておきました。

三人は國へ歸つてから、三男の王子が病人に生命の水の入つたコップを勸めました、病人の王樣は辛い鹽水を飮んだので、前よりも餘計に惡くなりました。二人の兄さんは、弟を叱りつけて「お父さんを毒害するつもりだな」と言つて、やがて眞實の生命の水を差出して、お父さんに飮ませますと今まで非常に苦しんでゐた王樣は病がけろりと直つてしまひました二人の兄さんは弟を大變笑つて「生命の水を持つて來など嘘をつくものではない」と言ひました王樣も非常に怒つて臣を呼んで、三男の王子を殺してしまうやうに命じました。

子供の智慧

回忘れちまつて

第一號で御目にかゝつた守さん（六歳）お父さんに向ひ「おれのことを新聞に書やがつたから、原稿を破つてやつた」と言ひつけるとお父さんは「原稿を破つても、又書かれたら仕方がないぢやないかと笑ふと「だから、忘れちまつて又書けなくなるやうに、頭をなぐつてやつた」と守さんはさも尤もらしく答へました。

回言葉の應用

今年三才になる忠ちやんは蚊にさゝれて、泣きながらお父さんの机の側に來て「お父ちやん、蚊めがさしたハアモニカ（アンモニア）をつけて下さい」朝起ると往來で荷車の通る音が聞えるので、忠ちやん、吃驚したやうに「おや、母ちやん、紙屑（雷）が鳴つてる、水（雨）がこぼれるかい」

新刊紹介

●敏　郎　集（生方敏郎著）

敏郎君は當代の諷刺家である。齋藤綠雨逝いて以來諷刺家として文壇に立つ者君の外には誰もない。綠雨は江戸生れの才人であつたが、敏郎君は上州生れの正直者である。正直なるが故に世に容れられぬ場合が多い。敏郎君は窮すれば窮するほど、其の天生のウイットは尖つて來て其の鋭さを增すのである。綠雨は大成せずして死んだが、敏郎君は日本のスヰフトとして大に其の才を發揮させたいものである。本書は敏郎君が今まで書いた短篇小說や諷刺的斷片や研究や公開狀などが集めてあつて、いづれにも敏郎君の面目が躍如としてゐる。『相馬御風君に與ふる書』などは殊に面白く思はれた。よく友人に對してあれだけの事が言へるさ敏郎君の正直心の大膽を面白く思つた。兎に角斯る奇才ある諷刺家を有することはわが文壇の誇である。（定價九十五錢麹町區三番町植竹書院發行）

●自　然　論（片上伸譯）

エマスンの『自然論』を初めて日本に紹介したのは、故北村透谷である。透谷逝いて二十年余を經て、初めて其の全譯が日本に出たわけである。片上氏の勞を多謝せねばならぬ。難解なエマスンの文章を斯くまで洗練した、澁みのない然も解り易い譯文に直した譯者の苦心は敬服の至りである。（定價八十錢牛込區通寺町南北社發行）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第一號主要目次

我は雇兵に非ず　小橋三四子
婦人は何故進歩せぬか　廣岡浅子
無視された女の人格　森村市左衛門
新時代に處する婦人の資格（十二名家の意見）
一人一評＝日向きむ子
婦人自活の途（裁縫の仕事）
文豪國木田獨歩の先妻さ其の娘
今後の岩野清子、年上の女さの結婚
文展の閨秀畫家　長吉
童話『生命の水』小説『奴隷』
芝居の女（一つ家のおさち）　大村嘉代子
養生法の自然主義　薄田斬雲
初冬と子供
五百圓内外の婚禮着見積表　菅野田鉱子
實益ある冬の平常着
わきが療法　帝大講師醫學士 片山國幸

小説

奴隷（其三）

松本雲舟

六

『敏子さん』と政雄は袖で顏を隱して泣いてゐる敏子を上から見下ろした。

敏子は默つて耳を澄ましてゐる。

政雄は煮へ返る胸を靜めて、

『私は何處までもあなたの友です、あなたが私に叛いても、私は決してあなたを棄てません。あなたの御考へ一つで、あなたと樂みを共にするとは出來ぬかも知れませんが、憂だけは共にさせていたゞきませう。親身の賴邊のないあなたの友として、兄として、今まで恁うして御交際して來たのですから、私の友情はいつまで立つても同じです。私のあなたに對する要求、それは私の勝手かも知れません、其の勝手をあなたに無理强ひはいたしません。あなたが自らの意志で進んで私を愛して下さらぬ以上、私は私の要求を徹回します、二度と再びあなたに申しませんから、御安心下さい』

政雄が恁ういふ間に、敏子はいつとなく政雄の衣物の裾を强く握んで引つ張つてゐた。政雄は其の引く力に思はず身を屈めて、敏子の耳の近くに口を寄せて、

『よいですか、解りましたか』と言ふと、敏子は首肯いて見せた。

『私は喜んであなたの奴隸となりますが』と政雄は逃懐するやうに、『あなたを私の奴隸とする事はどうしても出來ません。人を手段に使ふとは、私の信仰に合ひませんから』

敏子は政雄が何氣なく言つた奴隸といふ語を聽いて、胸を刺されるやうに痛みを覺へた。敏子の望む所は、自分を奴隸にしてくれる人であつた。政雄が自分に對して愛の大安賣をしてゐるやうに感ぜられてならぬのであつた、けれども流石に口に出して言はなかつた。

七

敏子は起ち上つて櫛を拔いて髮を撫つけた。顏は淚によごれてゐた。

『顏をおふきなさい』と政雄は注意した。

敏子は白いハンケチを袂から出して、目の緣から鼻のあたりを拭いた。

『これで可い？』と側に見てゐる政雄を見やつた。

『うん』と政雄の眼の光りは頰の皮膚の透き通るやうに白い敏子の顏を覗き込んだ。

『そんなに見ちや、いや』と敏子は初めて笑つた。政雄も想はずつり込まれて、にこりとして、

『さあ、少し歩きませう』と互に擦れ合ふやうに並んで、杉の木立の中に歩み行つた。

『時にあなたの想つてゐる人つて』と政雄は氣になるので、『現在この世に居る方ですか』

『もう、よいのよ』と敏子は談話を避けるやうに、『其の話は止めてちやうだい、苦しいから』

『だつて、それでは』と政雄はむきになつて、『茲まで一緒に來た甲斐がないではないですか』

「でももう話なくなりましたもの」

『無理には聽きませんが』と政雄も折れて、『物事は徹底させておいた方が善いですよ、お互の意志を疎通させるために』

『だつて』と敏子は笑つて、『あなたは先つき私があなたに叛いても、私を棄てないと仰しやつたでせう、だから、其の約束を實行して下さい。私の事は私で處置しますから』

『うん』と政雄は心をえぐられるやうに感じて、『私はあなたの奴隸で滿足します』と言つた。

『えい、いつまでも奴隸でゐてち

— 66 —

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第二號主要目次

御大典に際して　小橋三四子
婦人の獨立　麻生正藏
頭腦の基礎を作れ　三谷民子
一人一評＝矢島楫子

媒介結婚か自由結婚か（三輪田元道、嘉悅孝子、某夫人）
小藪女史天來の筆、女囚の生活
迷兒と棄兒
女と小說　德田秋聲
童話「生命の水」、小說「奴隸」

芝居の女「世間の寅子」　大村嘉代子
婦人自活の途（ミシン刺繡）
胃腸病者として我養生法　澤田斯雲
料理の主眼、命令一下勵行せよ
斜視は癒る
冬仕度三種、主婦の手帳　畑晴次郎
御大典奉祝として菊花理料献立

やうだい」と紋子は政雄を見上て其涼しい眼に情を湛へて、「私の心の想ひが失なつて了うまでね」「其時を待ちませう」と政雄は想はず紋子の手を握つたが、容易ひ秋の恋さに、其手は冷たかつた。

畫家の見た現代の女

現代は女の容姿や裝ひが混沌としてゐる時代です、婦人美の標準が少も定まつてゐません、此際畫家の見た現代の女に就て伺うのも參考にならうと存ます。

洗ひ髪の美

池田蕉園女史

▲上方の女と東京の女

近頃大阪へ行つて參りましたが彼方の方はお化粧なさる事が非常にお上手のやうです、そうして東京のやうな油氣の少ないばさくした髪は少なくて油でかためて一本の毛さへ落ちてゐない昔ならば身仕舞がいゝと云はれたやうな髪が多く町家のお主婦さんでも老人でも髪やお化粧をくづして居る者はありません。

東京では只今あんまり油などを用ひませんやうです、私はやつぱり油が少なくて洗ひ髪の方が氣持がいゝと思ひます。一般に皆樣のお化粧も、髪や着物の調和など も三四年前から見ますとよく取れるやうになつて參りました。同じ束髪でも流行といふよりも御自分の身體に合ふやうに苦心なさるやうですから自然で面白味があります。殊に毛の柔かい方の自然にまかせて其の内に幾分の釣り合を取つた髪は最よろしかろうと存じます。日本髪には望み惡いかも知れませんが、束髪の簪をも少し工夫して一定の型に制限されない自由な格好なものを自分で造つて用ひましたら如何でせう。

▲前からの女と後からの女

束髪は前から、日本髪は是非後から見たいと思ひます。毛生への丸見えの日本髪より自然にまかせて結んだ束髪の毛生へのゆつたりした處は、美の感を深く起させます。勿論太い心を入れた行儀のいゝ束髪の事ではありませんが、けれども後姿は日本髪に及ばないでせう、白い首に頭足の通つたのは遠くても近くても美しく見えます。

▲私の畫きたい婦人

私は現代の畫としては日本髪よりは束髪の婦人、花柳界よりはお嬢樣の方を畫き度うございます高髷等美しう御座いますが堅くなり過るやうな感じが致します。

肉躰美の發揮

森作湖仙女史

▲女は人間の花

自然を土台として從來の型から離れた美人畫を研究して居らるゝといふ湖仙女史の御感想を伺ひますと、それは女の私にはとても申し上げられないお話で、鏑木さんか池田さんなら必ず面白いでせう。私はまだ見解が狹う御座いますしと前置きして、私は女は人間の花だと思ひます、花ならば美しくなくてはなりません。思想上の事は私共の云々する所では御座いませんから申しませんが現代は柳腰の女の時代では有りません。表面の化粧に工夫するより、肉体美を發揮させる事が必要なのは私が申す迄も無い事です。ですから今の美人畫は婦人畫と云はるゝ時代が來る時が近かろうと思ひます。而し男性的で女子の長所たるしとやかと云ふ事を缺く事は面白くない、と申ても女子の私共が見て見惜い程しなを付けるのは好ましくありません。其の調和を取る事は六ケ敷いでせう。

▲日本髪の柔味

お話が横道に這入つて濟みませんが、矢島さん等のお骨折で廢娼運動とか或は藝者を公の場所に出さないとか云ふ樣の運動が盛に行はれ、漸時吾々婦人の地位の高められる事は嬉しい事ですが、實際私共は畫を畫く時には最も多く容姿はあの社界から學ぶ處が多かつたのです。而し花柳界の人物そのものをそのまゝ畫く事は好みませんが、格好は素人が及ぶ處ではありません。畫としては所謂現代的の女よりも日本髪の柔味のある方がいゝでせう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

深窓の佳人

野菜の値段も知らぬ高尚な無學

◉蟬の羽の様な厄雜な物を着て電車の中で押合ふ女を見ると、何うしても深窓の佳人としか思へません日本人は未だ桃源の人です。太變幸福な狀態です。

◉併し奴隷的幸福で、自立した幸福ではありません。高尚な無學を榮譽として、自らの地位を知らず夫の境遇を解せず、金以外に貴きを知らず、等しく世間から奥様と言はるゝが故に、局長夫人も書記夫人も同縮緬を着なくてはならないものと心得て居ます。性慾の智識を得るをすら恥と考へて、取返しの付かぬ大患に罹つたり、同じ意味からして子女の性慾監督を怠り、取返しの付かぬ業晒しをしたり。奸商の爲めにいか物を攫ませられたり、世間の仕來りに委せて愚しい浪費をしたり、新案新樣を凡て、罪惡の如く恐れたりする。

◉二タ言目には「世間では」と云ふ是非善惡を判斷する識見がない事を寧ろ貞淑温順であるかの如く心得、學問とは學校の教科書を暗記する事と心得、良妻賢母と云ふ事は價値の無い文字でもあるかの樣に心得たりする。

◉大事は以て共に謀るに足り、小事は以て之に一任するに足る様な女は、良妻であるとすれば、良妻たる事は男と同様の識見判斷力を要する事になります。良妻たる事豈容易ならんや、三遷の教へを授くる孟母の如きを賢母とするならば、賢母たる事は徹底した大教育家になる事です。

◉理屈にも合はない見榮を張つて外へ出る時ばかりぴらしやら着飾り、米屋が持つて來る袋を其儘に受取つて、升目を計つて見る事もせず、八百屋、魚屋の當がい物に滿足して自身其の店頭に立つたら何か德用で珍味なものがありはせぬかと云ふ慾心をも起さず、右を向けと言へば右。なべての女は、今日まだ此程度に居ます。一向氣合の入らない人間、其腹は借り物にして、其面は白粉まぶし。深窓の佳人は世情に遠がり、何にも知らずに居る事を上品なりとしなくてはなりません。

◉人を陷入るゝ事は好まぬが、同時に人に陷入れらるゝ事は斷じていやと言ふのでなくては、今日の世に處する事は出來ません。裸一貫で飛び出さなくてはならぬ世に女とても、あらゆる惡事、奸計、秘密、醜行に關する智識を要します。唯強い意志を以て誘惑に打勝たなくてはなりません、高山の植物の生活を止めて、泥中の蓮となる。之が、今日の女の覺悟でなくてはなりません。一口に言へば、惡黨の腹になつて、善事を行ふことです。（斬雲）

床の間の飾方

表裝競技會評議員　村岡應東氏談

床の間の装飾は來客に奥ゆかしい感じを與へるものですが、そに就て斯道の大家應東書伯を小石川水道町のお宅にお尋ねしますと書伯は見晴らしの良い十疊の書室で『通身是手眼』といふ黃檗山僧隱元の一行物に御自慢の松の投入れを具合よく置かれた九尺の床を左手にして愉快に語られました。

△田舍から東京へ

私が子供時代には東京の中流家庭の床の間等は物置同様で、單笥や鏡臺を載せる臺位に思つて居たものですが、其の時分は田舍の人の方が眞面目にやつたものと見えてよく、甲州方面に出掛けた時には猿橋屋の大黑といふに宿つたものですが、有名の人の筆で無くとも何時でも心持のよい掛物にそれ相當の時期の草花を活けて置くか又は幅によつてつまらない備前燒の置物でも多少調和した物を配置してありました。近頃は大分東京の人達もかう云ふ方面の趣味を解して注意するやうになつて來ました。而し床の間を飾つて居る人の趣味の程度を考へて見ると左の三四種類に分つ事が出來やうと思ひます。

△人の趣味の程度

床の間と物置と同一視して居るものは例外として（一）何かしら掛物を掛無ければならないものと思つて居る時代（二）多少調和を考へる時代即ち蝶の飛んで居る掛物の

— 68 —
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前には花を活けるといふやうに非常に說明をしたがる時代(三)多少垢ぬけがして墨繪の觀音に唐物の香爐でも置く時代(四)古今書流の如何を問はず凡てによく調和を取ることの出來る時代、この中最も滑稽な事の多いのは一から二に移る時代で狩野家あたりの結構な古畫の前に剝製の大きな鷹を置いて見たり、或は西洋花の鉢を飾つたり、又は倭畫に地球儀の置物を並べたりして不調和であるといふ事に一向氣が付か無いのです。二期に入れば强いて調和をさせたがつて蝙蝠の畫に柳を活けたり、蘆を活けて鷺の畫を掛ける時代で、共に客に快感を與へることは出來ないでせう。

△季節その調和其他

も一つは季節との調和を取る事が必要です、寒中ふるえて居る時分に水晶の玉を飾つたりするのは暑中雪景の圖を掛けるよりも感心しない事です。尚細かく申しますと掛物の圖と表裝の柄との調和又は繪の氣分を表裝で助けるなど澤山ありますが、一般の方々がそこまで趣味を解する事は六ケ敷い事でせう。然し出來るなら二幅なり三幅なり所持して居らるゝ掛物に相當した時季の花なり又は置物なりを成る可く調和の取れるやうに配置してほしいと存じます。同じ掛物を二月も三月も掛つぱなしになさらずに掛物を卷いて眠る位の注意は客をもてなす一つの手段として心掛て頂き度と思ひます。

料理と鰹節

△土佐節と伊豆節

料理の材料として色々の研究が必要になつて來るのですが先づ第一に最も必要なものは鰹節です、鰹節の中でも土佐節です。なぜ土佐節がいゝかと申すと鰹と云ふものは冷水を好むものですから、初春になつて南海の水が温まると、段々北の方へ上つて參り、土佐につく頃は丁度三四月の頃になりますこの時に土佐では鰹を取つてこれを一々夏の强い大陽で干すものですから大變にいゝ具合になるのです、然し伊豆節になりますと四五月か又は八九月に取れるものですから、土佐節ほどよく乾かす事が出來ません。堅さも從つて土佐節程には參りません。使用して徳用で且味の美なのは土佐に及ません

△鰹節のかき方

これは別段に七ケしい事は無いとお考への方もありませうが、素人と私ども商賣人の致しますのはこゝからして違ひます。私共で致しますと先づ鰹節を三十分位お湯につけて置きまして、小々表面が柔かくなつた時に、布巾でよく水氣を取つて表皮と血合の所をすつかりかき取つてしまひます、これを一番箱と申します。次は鉋の刃も極少々出して置きまして、氣長に力を入れて薄くかきます、これを二番箱と申します。從つて鰹節箱も二個必要の譯ですが、普通の所では一個でもいゝでせう。それでこの二番の方を普通汁物等の出しに用ひ、一番の方は煮物とか、そばつゆとか云ふ少位は濁り氣があつても差つかへのないものゝ出しに用ゆるやうにして居るのです。

△出しの引き方

次は出しの引方ですが、食物の甘いとかまづいとか云ふのはこの出しの加減一つにあるのです。先づ素人の方がなさるのならば水六合に鰹節十匁或は二十匁位の割合が多いやうですが、とてもこれでは甘いお料理は頂けません。水六合と致しましたら、どうしても四五十匁の鰹節がなくては駄目です

先づお湯を充分沸騰させて置きまして、鰹節を入れましたらば直ちに鍋をおろして、これを外の鍋に出し、殼の這入らないやうに移します。よく出しを引きますのに鰹節を入れまして長い間ぐら〳〵煮る方がありますが、鰹節の滋養分は熱湯の中に入ました時に大部分は直ちに出てしまふものですから、長時間煮る必要はありませんそれに長い間煮ますと出しがすつかり濁つてしまつて、吹物とか茶碗等のつゆ物には適しなくなりますから充分注意しなければなりません。この出しがらは二番出しにして二三十分間よく煮て、更にそばつゆや惣菜等を煮る出しに用ひるか、或はこれを乾てためて置きまして四五十匁位になりましたらば、よくいつて、すつて荒ぶるゐにかけて、醤油と砂糖を入れていり上れば、でんぶとなりますからお辨當のおかづとか一寸御飯の時の惣菜に便利です。(万源主人談)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胃腸病者としての余が養生法（承前）

薄田斬雲

△反嚼の療法

胃病と言つても種々ありますが、私のは胃擴張兼胃酸過多症と云ふのです。之れ日本人に通常な、昔からの溜飲と云ふのでせう。處が斯種の胃病者には得て反嚼が來ます、きたない話だが、私は嘗て新小説に『反嚼の味』と言ふのを書いて大方の諸君に目を蔽はしめた通り、患者自にしては一種特別な美味で、一たび此習慣が付いたら容易に止められません。既に讀者の中にも反嚼をむか〳〵やつて居られる方が澤山有る事と思ひます。私の友人間にも二三人はあります。私が長與稱吉氏が存命の頃、日比谷公園前の胃腸病院へ通つた時に、一日同病者七名扣室で火鉢を圍みましたが、商店の番頭さんと見える氣輕な男が『貴下方も矢張りおやりですか？』と、謎の樣な奇問を發したのが、一座早くも夫れと勘付いて互に顔見合はせましたが、夫れは果して反嚼の事で、七人共に反嚼をやつて居るのです。互にきたない話だから密として居たのが此時皆な白狀して大笑ひしました。牛は反嚼する動物ですが、あれと同じ樣に私も反嚼が來るのでした。之は却々厄介な事で、胃腸病に罹る樣な物は、大抵生れながら虛弱な、神經質な薄志弱行の徒に多いのですから此習慣を破るに骨が折れます。私も五六年やりましたが其後大學病院へ入院して、食後直ちに臭ボツの交つた水藥を服用させられた時、やつと止めました。臭ボツの味が惡いから反嚼をやる氣になれなかつたのです。で反嚼を止めるには、食後直にウンと苦いホミカエツキスを調合した藥か臭ボツの交つた藥かを飲むに限ります。先天的に反嚼性を持つた人もありますが、溜飲の爲めに反嚼を起した人は先づ反嚼を止めないと胃が治りません、そして非常に腦を惡るくします。

△果實の食い方

酸味の少い果實の汁は私の胃には最も適する樣です、併し消化力の衰へた胃に果實の肉は容易に消化しません、そこで私は果實は嚼んで糟を出す事にします。之れも十年來の經驗で一番無害な有功な方法の樣です。我々が果實を喰ふのは多く贅澤、快樂の爲めなのだから敢て果肉を喰つて腹を張らさなくとも好いのです。果實を喰ふて胃腸を損すると云ふのは甚だ拙なやり方です、で、私は梨子林檎葡萄など、皆な汁丈け飲んで糟を吐くのです。勿体ないと云ふかも知れませんが、胃腸を損じて醫者に罹つたり苦しい思ひしたりするよりは得用です。だが、禮儀上他家へ行つて果實の糟を出す事が一般に許されない時勢ですから、私は三度迄勸められると、では自分一流の喰い方で御馳走になりますからと、斷つて糟を出すのです。

△溜飲者の運動

私は徒歩する事が大嫌いです。

蛇の尾を捉へて、ゆすると、蛇が頭を擡げ得ません、ゆすられて体の彈力を失ふからです。私の胃も、歩くと、ひだになつて居る胃袋が彈力を失つてぐたりと擴張する氣味でいやな氣持になります。で、足を運ばさずに運動する事を考へました。大工の眞似は胃腸病者に結構です、手細工をする、指先を使ふ事は胃の爲めに好いと言ひますが、ペンで字を書く事すらも、私の胃には散歩よりはズツと具合が好いのです。併し何か積極的に胃腸を健康にする運動法を醫者に相談しましたら、船の櫓を押すのが理想的運動法だと言ひます。之は私が先年九十九里の海岸に一年生活した折り經驗がある事で、實に私に適した運動でした。併し東京で船の櫓は命が要る、時間が要る、隨分厄介です、夫れで私しは弓術を始めました、弓術は足を運ばずに腰へ力を入れて不動の姿勢になるのですから、私しの注文にはまつて居ます。柔かく、穩かに、善良な食慾を惹起する事、弓術の如き運動は從來覺えありません。私は擊劍柔道、ボールなど多少の經驗はありますが、何れも過激で胃がむつとなり運動しつゝ空腹を感じ得ませんが、弓術ばかりは運動しつゝ次第に柔らかく空腹を感ずる氣持は實に幸福なものです。それに直接、人を相手にしないから、過激や無理が出ません。私の知つた男で体量二十一貫、柔道擊劍をやつて居た人が、弓術を始めてからの胃の具合を語つて『どうも妙だ、柔道などは隨分運動がひどいのにそんなに腹が空

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かない、飯も餘り喰へなかつたが弓術を始めてから、實に無類な快適な空腹を感じ、多く飯が喰へる」と言つて居ました。溜飲患者には弓術が一番適した運動と思ひます。

瓦斯の經濟

女子高等師範教授　近藤耕藏氏談

△瓦斯七輪の改良

從來使用して居る瓦斯七輪は非常に大き過ぎると思ひます。元來瓦斯の火と申しますものは外に開いて燃えるものでありますから火の出る輪が小さくても燃えて居る處は大きい輪を作るものです。ですから瓦斯の輪より幾分か大きい鍋なり鐵瓶なりを用ゆるが經濟です。實驗の結果で見ますと一定の分量の水を普通より小さい鍋で煮ますと三、六立方尺の瓦斯を要し、普通より大きい鍋を用ひますと二、九四立方尺で足ります。

△瓦斯の使ひ方

時間の早さは火の大きさの割合に依るものですが經濟はこれに伴なひません。實驗して見ますと最も大きく瓦斯を出すと九五を要するものを少し小さくすると九〇で濟み、更に小さくすれば八七で足るのです。而し最も豆大の火を用ひますと却て百〇三を要します。これで見ますとあんまり大きくするよりは中邊の大きさの火の方が經濟です。

子供と吸入

△吸入器の撰び方

木枯らしが吹いて來ますと、皮膚の弱い子供は直に咳をします。其れを打捨てゝおくと取返しのつかない病氣のなる事が往々あります。輕い寒冒から來た咳をなほすのには吸入が一番効果があります。吸入といふと大變面倒な億劫なものゝ様に心得る人は大抵吸入器の撰び方と使用法とが間違つて居る事が多いやうです。完全な吸入器さへ選んで使用すれば一回が十分乃至十五分で濟ますから子供も嫌がりません。從つて容易く出來ます。先づ吸入器を購入する時にはどうすればよいかといふに、一番大切なのは、湯を沸かす釜の上に出てゐる管の口と、吸入コップに挿し込んだ管の口とが、ぴつたりと合つて居て其間に少の間隙もない事が主要なる條件であります。もし、此二つの口の小孔が五厘以上も離れて居ましたならば徒に時間がかゝるばかりでなく、吸入の効果も少くなります。それから又釜と其の上に出てゐる管とが少しの際もなく合つて居る事が大切です。

△子供の睡てゐる間に

子供に吸入させる時胸掛の上に油紙をあてゝ一尺五寸位離れて座らせます。此時、別に口をあけさせる必要はありません。自由に唱歌なぞ歌はせておくのが一番よい方法です。もし吸入を嫌ふ癖のある子供とか幼いとか、病氣が重くて起て居られないとか云ふ様な時は寝て居る間にするのもようございます。然ういふ時は油紙を二枚用意して置いて一枚は上の夜具をくるみ、一枚は敷布團と枕とを蔽ひます。そして顔だけ出させておいて、口と鼻の處へ湯氣の行くやうにして致します。

吸入藥は一回の量が吸入コップに三杯、それが凡そ十分乃至十五分で終ります。此れを二時間置き位にします。

主婦の手帳

▲きんかくしの汚点

便所のきんかくし(但し瀬戸物)に汚点のついた時は、粗製の鹽酸に少し水を加へ薄くして、さゝらに浸して擦ると奇麗になります。

▲食卓用のナイフ

食卓用のナイフは使用後曹達湯で洗ひ更に湯にひたし水氣をよく拭きさつて極少量の油をつけた布で拭いておきます。使用する時は湯で洗ひます。

▲お豆腐の煑方

お豆腐は煮すぎると不消化ですし生では黴菌が怖しうございます。少し大きく切つた奴豆腐は熱湯の中にいれて二分を適度とし。八杯のやうに小さく切つたものは熱湯の中にいれてうき上るのを適度とします。

▲玉子の煮方

玉子もお汁などに落して用ゆるときは熱湯に落して一分經つたらかへして一分都合二分を適度とします。玉子の茶碗むしは十分を適度とします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の聲

回女教師の筒袖

私は或る田舍の女學校の先生をしてゐますが校規として筒袖を着せられるには大に閉口します、男子の先生が洋服でない時には袖のついた和服を着て來るとが出來るのに、女子はどうして袖のついた衣物を着るとが出來ぬのでせう。家へ歸れば女の教師も生徒も、筒袖を脱いでしまうのですが、學校へ行く時だけ普通の身裝が出來ぬとは、どうした事でせう。服裝改良といふ事が社會全体に行はれた後なら兎に角、まださういふ時節でない今日、優美といふものを全く取去つた殺風景な服裝を女子に強ゆるとは精神上も風儀上もあまり宜しくないと思ひます。(田舍女教師)

回人生を出直さう

私は今某市の小學校に勤めて居ります。人一倍興奮性の強い自分は日毎に起る自己の周圍の小さな事や、職務上に關して、思ひ煩はされる事が非常に多いのです。そして二ケ年半の教員生活は幾多教育上の問題に思ひ及びました。今更ではありませんが教育事業の重大な事を知ると共に、極めて不完全なる未成品の自己を顧ずには居られません。私は先づ自ら出發しなほさねばなりませぬ。外部には先づ眼を閉ぢて、自己の向上發展を許りたいと思ひます。然しこはやがて伸びんとして先づ屈する準備に外なりません(房江)

回鈴のついた下駄

私の娘は今年生れて三つになりましたので、七五三のお祝ひを方々からいたゞきました。其内に鈴のついた下駄をくれた方があります、さうすると私の主人は、『猫と間違へられたのではないか』と申しました。(愛子)

◉投書歡迎　どうぞ續々御投書下さい

□京都の娘氣質

四條の大橋が人造石に變つたり電車が加茂川べりを突切つたりして物質文明は千年の舊都を惜氣もなく破壞し去らうとして居ますが、京都の娘氣質は矢張り古典的で少しも文明の潮流に浮されずに昔のまゝを守りつゞけて居ます。京の娘はなか〱東京あたりの娘のやうに平氣で外出するやうな事はなくみな家の中に引込んであの店先の格子の間から外を覗いて見ては僅かに心を慰さめて居ます。そして今度の御大典のやうな御祝ひの日には人の影に隠れるやうにしては、行列を見たり年寄の手を引いて、いかにも淑やかにしほらしくも神參りや紅葉見物に出掛けるのを見受けます。

家庭園藝叢談

藥草研究の話

△昔の藥用菊は重に甘菊であつた相であるけれども今日の藥用菊は苦味があつて其中に薄荷の如き『ピリ〱』する性分を有つて居るものでありませんと胃の消化を助けたり、溜飲を治したりする事は出來ません

△勿論藥用菊とは謂ふものゝ、實際は觀賞本位のものでありますからして、其花を觀てから後莖葉を藥にするものであります

△何れの菊でも苦味と謂ふものがありましても薄荷に似た『ピリ〱』する性分を有つて居ります菊は少ないのです。

△何千何万本の菊を嚙別けましても觀賞躰藥用の長生殿と云ふ菊程偉大な効力を有つて居るものはありません。

△私は長年月の實驗からして皮膚一切の病氣に利目のある藥を發見しました、コレは其藥効を謂ふと『ニキビ』田蟲、南京蟲『ヒビ』『アカキレ』腫物等有ゆる病氣に特効があります。(千葉晩香)

身の上相談

養子を離縁したい

△私の娘を親戚に養女にやりました所が、數日前養子を迎へると同時に、其の養母が亡くなりましたので、養家では、養子と私の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

娘だけになりました。所で養子は此頃頻りに自分の籍を入れろと迫ります。勿論養子に貰つた者の籍を入れるのは當然ですがどうも養子の性質が善くありません養家の財産に對して惡計があるやうな素振がありありと見えるのです、娘との折合もあまりよく無く、娘も不安心だと申すのです。かういふ場合に籍を入れてもよいでせうかそれとも離別しても差支ないでせうか。（心配な母）

（答）養子とあなたの娘との夫婦仲が好いなら兎に角、其の折合が惡いやうでは、養子の籍が入つて戸主になつたら、どういふ事になるか知れません、或はあなたの娘は追ひ出されるやうな場合がないとも限りません其故余程用心なさいまし。若し其の際限がありありと解つてゐるやうなら、籍を入れぬ内に、離縁した方がよいと思ひます、併し輕々しく離縁することはいけませぬから、慎重に處理なさることが必要です。

迷信てせうか

△私は今まで心に迷がある毎に易者に見てもらうことにしてゐましたが、それは迷信でせうか。此頃不圖さういふ考へが起りましたので御尋ねいたします。（のぶ子）

（答）易者は其の職業上多く人生の苦勞人ですから其の術のいかんは兎もあれ、其の言ふ所には參考になる事がありませう、けれども易者に相談するのは、其の術にたよるのですから、あまり善くありますまい寧ろ普通の人で同情の深い苦勞人に相談した方が善いと思ひます。

編輯だより

▲本誌も生れたばかりと思つてゐる間にもう第三號を出すことになりました、早いものです、茲に皆さまに編輯室の有様を御紹介いたしませう▲此の編輯局を發見したのは十月四日で六日に早速引越し、それから、編輯の机や椅子をあつらへ、電話を架けたり種々な準備をしたのですが、後から考へると善く短い間にこれだけの準備が出來たと驚きます▲編輯室にあてられた二階は入口が三疊で、其處に給仕が居り電話があります、これに隣つた四疊の西洋間は人事相談や來客の應接間にあてゝあるのですが、お客さま方は其の應接間に通らずに、どしどし次の編輯室へ侵入して、同人の仕事を邪魔をします▲私共同人の室は四疊半と六疊の二間で、廊架には東南に硝子戸がめぐらしてあるので、非常に明るく、暖かで、火鉢が入らぬ程です▲私共の此の家はもと某辯護士が住んでゐました頃、夫婦鳩を二羽買ひました處が、今ではそれが殖へて十羽位になつて、今でも軒の巣には雛鳩がぐうぐう鳴いてゐて、近所では『鳩の家』として有名であります。場所は外濠線の新見付停留所から直ぐで、呉服屋『あまさけや』の裏手にあたつてゐますからどうぞ皆さま、御立ち寄り下さい。

購讀者諸君へ

購讀料をまだ御拂ひ込みにならぬ方は、どうぞ御願ひいたします振替は東京三一六六〇番ですから之れを御使用下された方が御便利です。振替御使用の時には、取り扱料として一錢餘分に御拂込み下さい。

社告

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用は要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外、午後零時より午後四時迄です。

顧問

衆議院議員文學士　小山東助
辯護士法學士　杉山賢三
法學士　高田愼吾
婦人週報主幹　小橋三四子

主任（前讀賣新聞身の上相談主任）松本雲舟

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社内
人事相談所
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

護謨製氷枕

四百個に限り

某商會の藏拂につき左の特價で御取次をします品は御請合致します。

大　四十五錢の處　特價參拾五錢　送料貳錢

小　四十錢の處　特價參拾錢　送料貳錢

婦人週報社代理部

東京市牛込區市ヶ谷田町貳丁目拾七番地
電話番町四五六六
振替東京三一六六〇番

主筆　安井哲子

新女界

毎月一日發行

定價一部郵税共十二錢

◉日本の基督教婦人を代表する唯一の婦人雜誌なり

◉婦人に關する最も健全なる思想を鼓吹す

◉家庭の清新なる趣味の機關たるを期す

東京市小石川區林町四十三番地

新人社

婦人週報

特價

米國シンガー

家庭用ミ

体裁優美に

裁縫刺繍に

特製

キヤビネ

裝飾用に

新式

外に和服裁縫

ミシ

種類及定價

の方は婦人

申込を乞ふ

婦人

讀者に限り
提供!!
ミシン會社
シン
にして和服
に最も適す
ット型及び客室
にもなる
ミシン
に最も適する
ン數種
表の目錄御望み
週報社へ直接御
週報社代理部

御大典記念一割引
(和洋服 羽毛皮 敷物窓掛) クリーニング(無水淸淨) 染色 プレッシング(洋服皺伸シ)
各國大公使館御用
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
本店 東京日比谷公園停留場際 (電新三一〇八番)

產科
婦人科
小兒科
東京府內藤新宿番衆町三十一番地
女醫 井出茂代
電話番町三六七七番

新宿車庫橫
齒科 口腔外科
糸川齒科醫院
齒科醫學士 糸川篤彥

齒科
ドクトル 富田貞一
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六(久松町停留場より西一丁)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

帯上げの革命!!!

◉貴婦人愛用

此の繪は何に……あら未だ知らないの……

新發明の帯上げ止め……効用は

●帯上げが下がらぬ●胸を締めぬ●後姿が「スッテキ」●おたいこの形が立派●胸の呼吸が自然で呼吸器病に罹らぬ

專賣特許　**衞生帯上げ止め**

◉醫學上より見たる衞生帯上げ止め

生理上男子の呼吸は腹式で女子の呼吸は胸式であります其れは女子には姙娠と云ふ大役があるからであります然し之が爲め從來の帯上げ丈けではどんなに強く締めつけても直きづり落ちて「おたいこ」の形がくづれて見苦しくなります本品を御使用あれば婦人本來の胸式呼吸を完全に營む事が出來胸部の發達を阻害する憂ひは少しもありません。

◉婦人美より見たる衞生帯上げ止め

日本婦人の美點は髮と帯とにあります本品を御用ひになればどんなにしても帯上の下がる事なく「おたいこ」の形も締めたまゝに「きちん」となつて終日後ろ姿の美を保つ事が出來ますなほこの帯上げ止めでは帯を高く結ぶことが出來ますから背がすらりと見えます。

（帯上げは丸髷形が一番調和します）

販賣店

- 三越呉服店
- 白木屋呉服店
- 松屋呉服店
- 大西白牡丹
- 小間物問屋　万新商店
- 小間物問屋　富士喜商店

□定價□

- 並製　三十錢
- 上製　四十錢
- 特製　五十錢より

■使用法■

圖の如く下締へさし込んで帯と帯上げを一緒に帯上げ止の上に載せるのであります。

（本社代理部でお取次いたします）

京都染物

御誂御好に…らしき品同…あらいはり、…右之通迅速…可仕候間多…に奉願上候…用を承り居…

東京市本郷…井筒屋支…

御注文の節は御…

金田秋香先生

大正 女子消…

山内香溪先生書

女子 筆のたしなみ

和全 壹册 裝

定價 金貳拾五錢　郵稅 金四錢

手紙を巧く書…び女學生の爲め…です。

社交にも實用…けない」「ごう…ろのを甚だ遺憾…て實用を主させ…しくは草書を調…ます。

特に大正女子…手紙の認め方等…他に比類少なき…

金田秋香先生

女子作文

文は社交の要具にして、その巧拙…る、一般の自覺に投じて最も劃切に…書中書翰文より記事日記に至るまで…考文、範文を挿入して或は古人の…秀園の作を味しむ。希ふ文を學ば…

樋口龍峽先生編

新体 女子書翰文

新体 日記文範

◎御注文の節は婦人週報に御記入を願ひます

大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正四年十一月十九日發行

本紙定價　一部金四錢五厘（郵送料共）半年（廿六部）前金壹圓▲三月十三…一年（五…

應じ御古物染直しにても御新
様美麗にいたし候
しみぬき、ゆのし
を旨とし精々入念廉價に調進
少に拘らず御用向被仰付度偏
宮内省初め女子大學校の御
候

店　**中村榮次郎**
湯島新花町八番地（靈雲寺門前）
電話下谷五六七四
一報被下候へば早速御伺可申候

書
息文
和装　定價金四拾五錢
全壹册　郵税金　四錢
くのは人生成功の捷徑です。本書は一般の婦人及
に、家庭における自習參考用として編んだもの
にも手紙の大切と云ふ事は認めながら、「甘く書
たら書けるでせう」などゝ口癖のやうに發せられ
になじます。本書は作文と習字とを連絡一致させ
る候文體を用ひ書體も假字を主としこれに行書も
和せしめて、女子に最も適切な書法を示してあり
消息文の卷末に實体の假字を集め、手紙の心得、
を説いて自習の便に供したるなど、本書を措いて
こと信じます。

編
の栞
洋装　定價金參拾五錢
全壹册　郵税金　四
細は處世の利害に及すところ甚だ大なりと感ぜら
に編纂せられたるは此の書なり。
まで、あらゆる種類の普通文を修め特に例文、
雅文を修得せしめ、或は現時女流の大家はた名媛、
とせする者は一讀せられん事を。
洋裝定價金參拾錢
全壹册郵税金四錢
同　上
て御覽の旨

發行所
日本橋區鐵砲町三番地
榊原文盛堂
振替東京三〇九〇番
電話浪花三三二二番

（一部前金五十四錢
十二部）前金貳圓
廣告料　一行金四拾錢　一段拾貳圓
一頁金六拾圓
東京市牛込市谷田町二丁目十七番地
婦人週報社
電話番町四五六六番
振替東京三一六六〇番

家庭週報

■家庭週報は四六四倍大八頁のもので毎週金曜日に發行致します。
■家庭週報の内容は主として日本女子大學校卒業生の研究。經驗及思索。文苑の發表機關にあて又廣く一般婦人の眞面目なる所信の發表機關にあてゝ居ります、尙婦人に關する諸先輩の意見を乞ふて掲載致します。
■家庭週報の抱負は廣く婦人の件侶となり、慰安となり指導となつて行くことを期して居ります。
■家庭週報は常に研究的態度を以て改善進歩に務むることを忘れません。
■家庭週報は編輯は勿論事務、發送、廣告等總て女子の手に依つて經營せられて居ります、故に家庭週報そのものが既に女子研究の好材料と見らるゝことを覺悟して居ります。

▲定價一部（郵税共）金三錢五厘
〇半ヶ年分前金八十五錢　一ヶ年分前金一圓六十錢

發行所　東京市小石川區
日本女子大學校内　**櫻楓會**
電話番町　二一六五　振替貯金口座東京　一〇三四〇

電番六二番　**東洋内科醫院**
麹町區三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
院長　醫學士　**高田畊安**
院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤

電話ちがさき二番
相州茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
南湖院
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA